



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



この症状はどんな病気？～菌核病・白絹病～

【菌核病(*Sclerotinia sclerotiorum*)】



写真：トマト

地際部の茎あるいは葉の先端部に発生する。施設栽培では、主に、侵された葉があめ色に変色し、やがてこの部分に**白色・綿毛状の菌糸**を生じる。症状が進むと茎葉が萎れ、枯死し、罹病茎の外側および内側に**黒いネズミの糞状の菌核**を形成する。

【白絹病(*Sclerotium rolfsii*)】



地際の茎葉と根が侵され、**水浸状に変色・腐敗枯死**する。腐敗は内部まで進展する。罹病部や地表面に**光沢のある白色菌糸**が豊富に生じ、後に、表面が平滑で直径0.8～2.3mmで**種子状、初め白色で後に褐色に変色する菌核**が無数に形成される。

！ 防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！ ！

時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P2	白さび病	inochioキクッチャ粒剤	○	-	6～9kg/10a (作条土壤混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	アントラコール顆粒水和剤	○	-	1,000～2,000倍	発病前～発病初期	6回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンプロアブル	-	-	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	褐斑病・黒斑病 白さび病	メジャーフロアブル	○	○	2,000倍	発病初期	3回
	20D	ナミハダニ	マイトコーネフロアブル	-	-	1,000倍	開花前	1回
発蕾時	21A 39	白さび病・アブラムシ類 アザミウマ類・ハモグリバエ類	ハチハチ乳剤	○	-	1,000倍	発病初期 発生初期	4回
	25A	ハダニ類	スターマイトフロアブル	-	-	2,000倍	発生初期	1回
破蕾期	3	うどんこ病・白さび病	アンビルフロアブル	○	○	1,000倍	発病初期	7回
	33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル※	-	-	2,000倍	発生初期	2回

地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があるためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物登録

海藻サンバ

イノチオの新しいバイオステュミラント！

育苗期の発根促進剤

►コリンによる**光合成促進**と**発根促進**

►海藻エキスによる**発根促進**

►転流を促進

挿し芽前どぶ漬け：1,000倍液に浸漬処理 肥料登録番号
葉面散布：1,000～2,000倍液を散布 生第101491号



展着剤 ブレイクスルー 冬の乾きにくい時期におすすめ！

- ◎ 敷布後の薬剤の乾きが早い！
展着剤の中でも特に速乾性の高い薬剤です
- ◎ 濡れ性に優れ、薬剤を瞬時に広げます
- ◎ 汚れ軽減効果に優れています

5,000～10,000倍 添加

